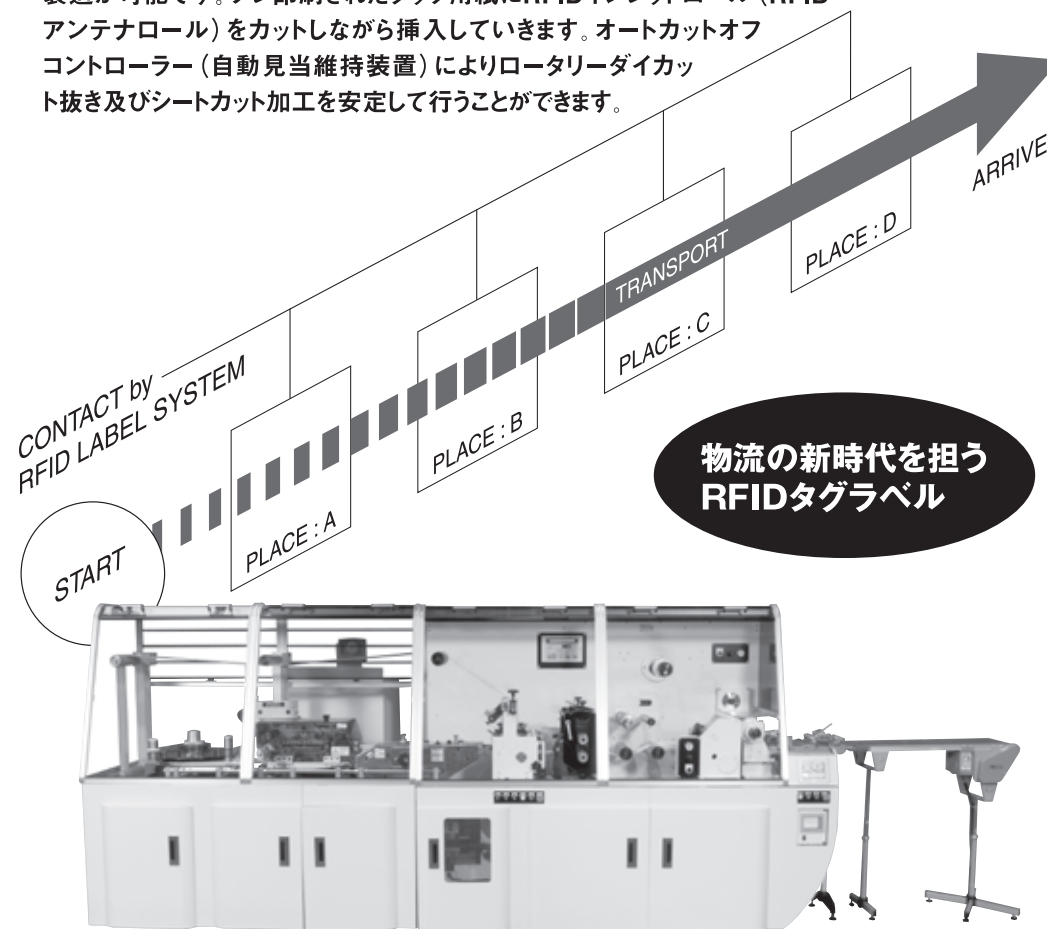


RFID Label Making Machine

RFIDタグラベル製造加工機

TIC-R型RFIDインレット貼付け機

ユビキダス時代の到来により、あらゆる業種で導入され始めたRFIDタグラベルの製造が可能です。プレ印刷されたタック用紙にRFIDインレットロール (RFIDアンテナロール) をカットしながら挿入していきます。オートカットオフコントローラー (自動見当維持装置) によりロータリーダイカット抜き及びシートカット加工を安定して行うことができます。



物流の新時代を担う
RFIDタグラベル

※写真は輸転機タイプですが、間欠タイプも可能です。

標準仕様 ●最大紙巾/250mm●最大ロール径/φ500mm●最大加工速度/50m毎分 (条件に拠ります) ●ロータリーダイカットサイズ/193.375mm~457.2mm (7-5/8吋~18吋) ●シートカットサイズ/171.45mm~412.75mm (6-3/4吋~16-1/4吋) ●オプション/検査装置、不良品リジェクター

TAIYO 株式会社太陽機械製作所

■本 社 〒143-0015 東京都大田区大森西1-17-22 TEL. (03) 3764-6127 FAX. (03) 3766-5036
■大阪営業所 〒532-0012 大阪市淀川区木川東3-4-11 第一丸善ビル TEL. (06) 6390-5612 FAX. (06) 6303-3909
■山形工場 〒991-0061 山形県寒河江市中央工業団地12番地 TEL. (0237) 86-0223 FAX. (0237) 86-0179
<http://www.taiyo-kikai.co.jp> E-mailでのお問合せは taiyo@taiyo-kikai.co.jpまで



フォーム印刷

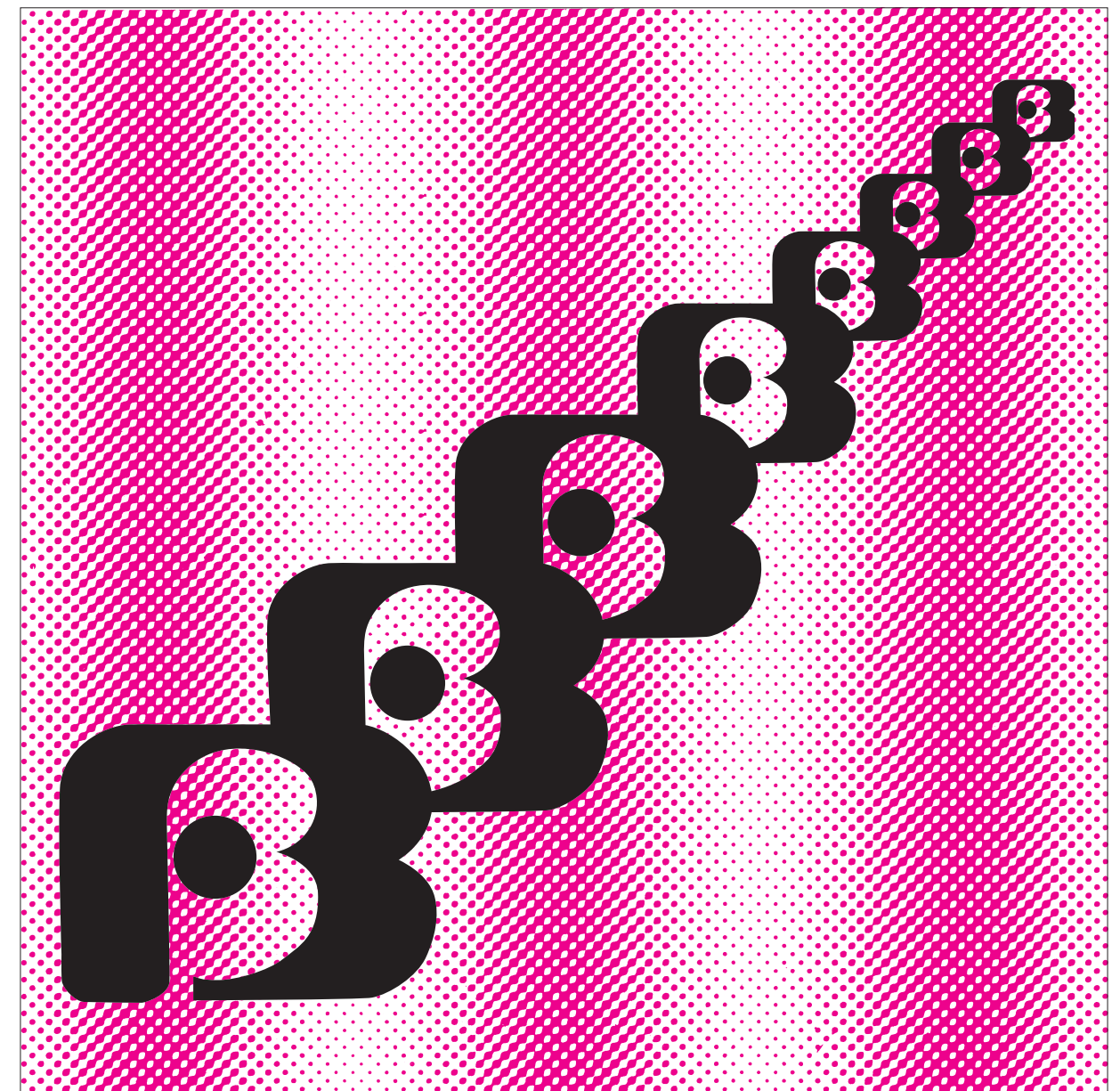


JAPAN BUSINESS FORMS ASSOCIATION

日本フォーム印刷工業連合会会報

発行 日本フォーム印刷工業連合会 〒104-0041 東京都中央区新富1-16-8 日本印刷会館
TEL 03(3551)8615 FAX 03(3555)8466 ホームページ <http://www.jbfa.jp>

NO. **359**



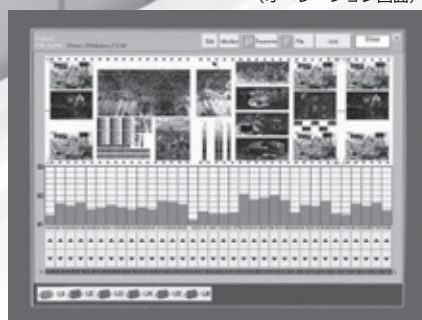
2009.4

コスト削減・高品質

ビジネスフォーム印刷に最適!!《環境配慮型システム》



▼IPCパネルコンピュータ
(オペレーション画面)

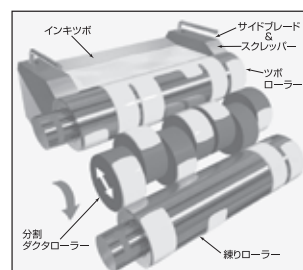


※刷版データとインキ量グラフを同時に表示。オペレーターが操作しやすくなっています。

IPC 〈インキプリセットコントロール〉

★メリット

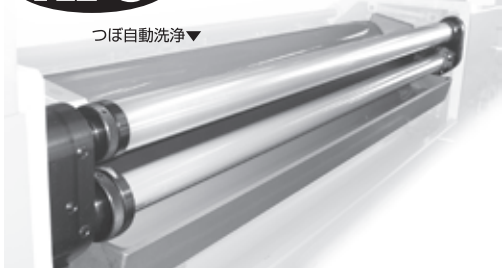
- ◎分割ダクタローラーは正確なインキ量供給により、色調、立ち上がりが向上。
- ◎低速から高速への速度追従機能により、濃度安定・ヤレ削減を実現。
- ◎極小絵柄でも色品質が安定し、インキ乳化を抑制。
- ◎つぼネジ調整一切不要→時間短縮・生産効率UP。



▲分割ダクタローラー機構
(呼び出しローラー)

AFC 〈オートファンテンクリーニング〉

つぼ自動洗浄▼



- インキつぼをカバーフィルムで覆い、自動フィルム巻取機能による洗浄システム。

★メリット

- ◎12色機の場合、インキつぼ&つぼローラを同時に洗浄、約3分で洗浄完了。

IPC・AFC 国内外特許取得
※類似品にご注意下さい。

アイマー・プランニング株式会社
〒612-8207 京都市伏見区横大路三栖山城屋敷町108

TEL.075-603-3878 FAX.075-603-3877
URL http://www.imer.jp E-mail:sec@imer.jp



B フォーム印刷

日本フォーム印刷工業連合会会報 2009.4 No.359

目次

日本フォーム工連 平成20年度第8回理事会議事要録	2
日本フォーム工連 平成20年度第9回理事会議事要録	3
トピックス	5

関東フォーム印刷工業会 新春懇親会実施
「経営革新のすすめ」拡大理事で開催
資材委員会・環境委員会 用紙クロズドリサイクル施設見学会を開催
技術委員会・技術セミナー「インラインフィニッシングの動向」を開催

工業会だより	11
--------	----

東北フォーム印刷工業会
関西フォーム印刷工業会
九州フォーム印刷工業会

INFORMATION	13
-------------	----

業務委員会「日本でいちばん大切にしたい会社」坂本教授講演会のご案内
国際委員会「CHINAPRINT2009・中国企業視察」ツアーを企画
北米印刷事情レポート(2009年1月～3月)
経済産業省「省エネ法がかわります」
「経済産業省企業活動基本調査」へのご協力
発刊 印刷図書館「世界の最新印刷技術」発刊案内

フォーム印刷用インキのトップシェア FDフォームTF NC

圧倒的な生産性を実現!!

安定した印刷品質 抜群の硬化スピード
高い乳化安定性とワイドな水幅 優れたUV硬化性
※話題の大豆油インキフォームFD TF SOY NCもご用意しました。

製品の詳しい情報はwww.toyoink.co.jp/
「製品・サービス」コーナーをご覧ください。

i&i イメージ&インターフェース
東洋インキ
本社/東京都中央区京橋二丁目3-13 TEL 03(3272)5731
RC事業部/TEL 03(3272)8473

オフセット印刷用 PS版

LITH-KOTE®

リスコート

〈ポジタイプ〉
LKP-K, LKP-R, LKP-A, AII
〈ネガタイプ〉
LKN-A, AII, LKN-N

富士薬品工業株式会社

東京都練馬区豊玉北3-14-10 TEL. 03(3557)6201
大阪府吹田市豊津町22-1 TEL. 06(384)1351

日本フォーム印刷工業連合会 平成20年度 第8回理事会議事要録	
■平成21年 1 月29日(木) 午後 3 時30分～午後 5 時	■椿山荘4F ネプチューン
■出席者(40名)	
秋山会長、小林副会長、小谷副会長、瀬戸(良)副会長、瀬戸(政)常任理事、小谷常任理事、室賀常任理事、福田(学)常任理事、丹羽常任理事、玉田常任理事、岡田常任理事、佐々木常任理事、川口北海道会長、松尾中部会長、中川関西会長、灘西中国会長、和田九州会長、石坂理事、坊野理事、長谷川理事、清水理事、西川監事、吉澤監事、山口(専務理事・事務局)	
オブザーバー(関東役員他 敬称略)	
渡辺、劔、山口(正)、福田(健)、高宮、水谷、森(茂)、荒瀬、岩上、中之庄、根岸、牧、丸田、森(哲)、谷島、田名網	

議 題 (1) 役員研修会「ニッチポイントを探せ」
(2) 委員会報告(資料配布)
(3) 日本印刷産業連合会等関連報告(資料配布)

議 事 冒頭、秋山会長の年頭挨拶の後議事に入った。
「秋山会長挨拶骨子」
改めて新年おめでとうございます。
ご存知の通り、世界経済が混乱のまま今年を迎えました。
私事ではありますが、このお正月韓国に行ってきましたが、円高のおかげというかウォン安で物価が非常に安いのに驚き、定価の半分以上のものもあり、個人的には恩恵を受けました。
しかし、今後の世界経済の動きはどうなるのかと大変気になった次第です。
我々の環境もますます厳しくなりつつありますが、せめて原油価格の下落と円高をフォローの風にしたいものだと思います。そのために、皆さんと一緒に取り組んでゆきたいと考えます。
今日の役員研修会をしっかりと聞いて経営戦略に役立てて下さい。

役員研修会	
*テーマ	「ニッチポイントを探せ。栄光は闇の奥深く潜む」
*講師	長山 伸作 氏 株式会社一光社プロ 代表取締役

＜世界不況こそ変革のチャンス＞
「PMマトリックス」を使用しながら「ニッチな事業」を探そう。
今の事業は「レッドオーシャン」価格破壊がおきて値段が勝負の時代になってしまっている。
先ず、自社の実力を把握するために3Cの関係からSWOT分析を。
外部環境から見て自社のS(強み)・W(弱み)は何なのかを求め、企業のビジョン(夢)を語り続け掲げることが必要。

また、コミュニケーション能力による意思の統一も重要である。
「PMマトリックス」で既存市場・既存商品の領域は「レッドオーシャン」、新市場(フロンティア市場、他の領域、他業界)と、3S(選択・差別化・集中)で求める新商品の領域が「ブルーオーシャン」となる。

—詳細はホームページに研修会報告として掲載—

フォーム工連委員会報告(配布)	
資材委員会	(1月度用紙事情説明メモ)
国際委員会	(11月12月、2009年1月 PSDAレポート)
業務委員会	(11月12月、月次計算書)
資材・環境委員会	(用紙クローズドリサイクル施設見学会案内書)
事務局	2009年度版全国会員名簿 第358号日本フォーム印刷工業会会報

JFPI REPORT(日本印刷産業連合会会報)	(6) 中小企業緊急雇用安定助成金について(厚生労働省)
今回の理事会においては、フォーム工連委員会、日本印刷産業連合会等関連報告は資料の配布にとどめ、配布資料等についての質問事項は事務局に寄せることとして、役員研修会終了とともに閉会した。(理事会閉会后、関東フォーム印刷工業会の新春懇親会に合流)	
次回開催日	平成20年度第9回理事会 平成21年3月12日(木) 午後1時30分より 於 印刷会館2階会議室 (工連運営会議11:45より予定)

日本フォーム印刷工業連合会 平成20年度 第9回理事会議事要録	
■平成21年 3 月12日(木) 午後 1 時30分～ 3 時	■日本印刷会館 201会議室
■出席者(21名)	
秋山会長、小林副会長、小谷(達)副会長、瀬戸(良)副会長、小谷(正)常任理事、室賀常任理事、福田常任理事、丹羽常任理事、玉田常任理事、岡田常任理事、笹氣常任理事、中川常任理事、和田常任理事、佐々木常任理事、福武理事、石坂理事、坊野理事、西川監事、吉澤監事、小林クリエイト(株)、鷲見支店長(松尾常任理事代理)、山口(専務理事・事務局)	

議 題 (1) 次年度予算について
(2) 委員会報告
(3) 日本印刷産業連合会等関連報告
(4) 各フォーム印刷工業会報告

議 事 冒頭、秋山会長挨拶の後議事に入った。
「秋山会長挨拶骨子」
ご存知のように今週月曜日に日経平均がバブル後の最安値をつけました。昨日は米国の株高の影響もあり値を戻しましたが、今後の成り行きはまったく不透明で樂觀を許せません。

この背景として、世界経済の悪化が日本国内に本格的に波及し実体経済が悪化し、2008年10月～12月のGDPが35年ぶりに落ち込んだこと、また政局の混迷とともに、景気や株価対策の対応の遅れで、投資家心理を悪化させていると言われている。我々の市場環境もますます厳しさを増してきており、業界としてとまどうばかりの状況かと思う。
この様な中で、当面手がけられることを、着実に

進めてゆくしかないと思う。
本日は、平成21年度の予算案と、次年度事業計画として業務委員会主催で開催する講演会や、中国・ヨーロッパへの海外視察等、新しい計画を紹介しますので、皆様の積極的な参加をお願い致したい。

次年度予算について
事務局山口より資料に基づき内容説明があり確認を受けた。

委員会報告
● 資材委員会 ・用紙クローズドリサイクル施設見学会報告 室賀委員長より、資料に基づき1月度用紙需給状況の説明と、2月13日に環境委員会との合同で実施し、50名の参加を頂いたりサイクル施設見学会についての報告があった。

●国際委員会

- ・PSDAレポート報告
- ・CHINAPRINT2009・中国BF印刷産業視察ツアーについて

玉田委員長より、PSDAレポート2月号の概要が報告された。

また 5月11日から北京で開催されるCHINAPRINT 2009と中国BF印刷産業を視察するツアーの概要説明があった。ツアーへの参加者募集は3月23日から開始する予定。

●業務委員会

- ・1月・2月度月次計算書について
- ・業務委員会主催講演会について

小谷業務委員長から1月・2月度月次計算書について報告があり、承認された。

また、次年度から始める業務委員会主催の講演会についての報告と、講師が紹介された。

5月の講演会は「日本でいちばん大切にしたい会社」の著者、法政大学大学院教授の坂本先生、8月の講演会は「リッツカールトンで学んだ仕事でいちばん大事なこと」の著者、林田先生を紹介した。

●市場調査委員会

- ・関東フォーム印刷工業会で実施した定期アンケートについて

急激に変化している市場動向の推移を把握するため、関東フォーム印刷工業会の協力を得て定期アンケートを実施している報告を行なった。

●技術委員会

- ・技術セミナー「インラインフィニッシングの動向」について

丹羽委員長より3月5日に約40名が参加して実施された「インラインフィニッシングの動向」についての技術セミナー報告があった。

次年度は、様々な技術的テーマについてタイムリーにセミナーを実施して行く方針と話された。

●環境委員会

- ・省エネ法が変わります

事務局より平成20年5月に改正され、企業全体の年間のエネルギー使用量が1,500k1以上の企業については、次年度からエネルギー使用量の計測と記録が義務づけられている省エネ法についての概要説明を行なった。



日本印刷産業連合会等関連報告

事務局山口より、資料に基づき以下の報告があった。

- 第8回印刷産業環境優良工場表彰の募集に関する件
- 団体名称変更について
新名称：全日本スクリーン・デジタル印刷協同組合連合会
- セーフティーネット貸付のご案内
労働関係法制の改定

各工業会報告

関東：支部活動の活性化施策として支部会を開催、また新会員を理事会に招いて交流を深める努力をしている。更に、会員の参加を呼びかけて3月26日に拡大理事会を開催し、併せて講演会を計画。

東北：先月約25名で日本製紙勿来工場見学会を実施した。また3月9日には環境セミナーを開催した。

関西：2月は大阪支部会を開催し、各社の不況時の施策と対策について話し合った。

九州：2月12日に会合と懇親会を実施。ここ3ヶ月間でIC関連の工場閉鎖が多くなっている。通販関係の企業は比較的状况が良い。大手印刷会社がDMの関係からデジタルプリンタを導入して、BF産業との境が無くなっている。

最後に瀬戸副会長より閉会挨拶があり、次回開催日予定

平成21年度第1回理事会

平成21年4月9日(木) 午後1時30分より

於 印刷会館

を確認して閉会となった。

トピックス

関東フォーム印刷工業会

関東フォーム印刷工業会 新春懇親会を開催

関東フォーム印刷工業会(瀬戸良教会長)は1月29日、東京・目白の椿山荘で新春懇親会を開催し、ご来賓の方々や関係者など約200人が出席した。

冒頭の挨拶で瀬戸会長は「フォーム工連では、年間を通して、技術や経営などをテーマにしたセミナーを多数開催している。各種セミナーでは有益な情報が多数発信されているので、より多くの会員に参加していただき、会員数も増加させながら実り多き工業会へと発展させていきたい」と抱負を述べた。また、今後の業界について「厳しい経済状況が続いているが、それぞれの会社が独自製品を開発していくなかで、新しいニッチを見出していくことが大切で、価格競争ではなく、会員各社の切磋琢磨による高い技術で競争し、互いの設備を利用しあっていく時ではないか」と協調の大切さも話した。

来賓のあいさつでは、日本印刷産業連合会の山口政廣会長から「混沌の中でも今こそ足下をしっかりと固めることが重要。新年に計画したことを着実に実行していくことが大切。いずれ経済が戻る時に、今しっかりやっていたかが問われる」と経営の原点を見つめ直す必要性を語った。

日本フォーム印刷工業連合会の秋山正法会長は「我々の環境は一段と厳しさを増している。このような荒波に立ち向かってゆくには、それぞれが置

かれている状況を見据えて、自助努力でなすべきことと、業界として協調してゆくべきことを見極めながら、互いに役立つ情報を共有して前進してゆきたい」と業界の協調を呼びかけた。

続いて、日本フォーム印刷工業連合会特別会員の(株)ミヤコシ 宮腰巖社長が登壇し「この経済危機の中で、モノを作り、モノを売る、そしてサービスをするという経済の原点に立ち返ることの大切さを知らされた。会員企業みなさんが一致団結してYes, We can! (君には必ずできる)の気構えをもって進んでいきたい」と延べ、乾杯となった。

宴は、福田学副会長の中締めでお開きとなった。

なお、新春懇親会に先立ち、日本フォーム印刷工業連合会主催の役員研修会では「ニッチポイントを探せ。栄光は闇の奥に潜む」をテーマに(株)一光社プロ社長の長山伸作氏が講演を行なった。長山氏は供給過多と需要減少、競争激化と価格破壊が起きている既存市場・既存製品分野の「レッドオーシャン(血に染まった海)」から、新市場・新製品分野の「ブルーオーシャン(波の静かな青い海)」への移行の必要性を語り、「戦略の方向性はトップが考えなければならない。コアコンピタンスの確立には努力が必要」と語った。

この講演内容について日本フォーム印刷工業連合会のホームページに掲載している。



山口政廣 日本印刷産業連合会会長



秋山正法 日本フォーム印刷工業連合会会長



研修会風景



新年懇親会

「経営革新のすすめ」 拡大理事会で講演

講師 出沼 輝男 氏

経済産業省商務情報政策局文化情報関連産業課（メディアコンテンツ課）課長補佐

はじめに

皆さん、こんにちは。ただいまご紹介にあずかりました経済産業省の出沼です。私は、経済産業省に入って30年過ぎていますが、ほとんど通商政策局とか貿易局というところが長くて、業界を所管するのは今回が初めての経験です。それまでは、ODA（政府開発援助）の仕事をずっとやってきて、4年前に中小企業庁に入りまして3年間、経営革新という施策を中心にやってきました。

中小企業庁にいたときに、いろいろ頑張っている中小企業を見ることができたので、そういう人たちのお話を印刷業界の人々にもすることによって、着眼点や経営のヒントをつかんでもらえたらと思い、毎月セミナーを開催致しております。

先日は全印シールの皆さんと長野県の伊那食品工業（株）に行ってきましたが、今年のセミナーのテーマは「情報提供」ということで、より具体的に企業のどういうところがすごいのか、などをお話し致そうと思っております。

アンテナを高くして（今すぐやる経営革新）

皆さんご存じかどうかわかりませんが、中小企業庁で『今すぐやる経営革新』という冊子を出しています。中小企業向けにこれだけ支援策があり、一つひとつのツールが書いてあって、パッケージも書いているので、経営革新の施策の数はページ数に見合った約100 本くらいの施策が紹介されています。

大企業と比べると中小企業は組織的に劣るというふうに一般的にいわれますが、情報のアンテナを高く立てておかなければならないのは、大企業だろうと、中小企業だろうと同じだろうと思います。「中小企業だから知らない」というような言い訳にしないで、情報のアンテナを高く立ててもらうために、経営革新の施策をいろいろ用意しています。

経営革新の取組みをより早く必要な印刷業界

「今の中小企業を取り巻く状況」を見ていただき

ますと、企業の開廃業率は、1981年くらいを境に開業率と廃業率が逆転し、ずっと開業率が下回っている状況になっています。

中小企業数の推移は平成元年から平成6年までの間に約10.5%社数がマイナスしていますが、印刷業界を見ると平成元年の約3万7,000 社から平成6年の約3万2,000 社と一般の中小企業のマイナスより大きく約15%社数が減少しています。これは一般の中小企業より約5割速いスピードで社数が少なくなっており、印刷業は経営革新への取組みに早く取り組まないとだめではないかと思っております。

経営革新のはじめは

各社で会社の強みと弱みを書き出してもらい、それをできる限り数値的に置き換えて、経年で見る必要があります。この作業をすると自分はこの部分は強いなと思っていたにもかかわらず、数字では意外と別のところが強かったり、強いなと思っていたところが結構贅肉を食っているだけであまり良くなかったということが判ってきます。

まず、自分がやっているところを数値化して、強いところ、弱いところをよくもう一回見つめ直し、それを知った上で、自分はどういう新しいことをやっていったら良いのかと計画として作っていくことです。

経営革新の定義

新しい「新事業活動を行うことにより、経営の相当程度の向上を図ること」が経営革新です。

では、「新事業活動」とは、Ⅰ新しい商品の開発と生産、Ⅱ新しいサービスの開発または提供、Ⅲ商品の新しいが、そのつくり方や売りが新

しいもの、Ⅳサービスは新しい提供ではないが、新しいやり方でやる。という4項目に分類はされますが、その他なにごとでも、昨日までやっていたことと違うことをやる場合に、この支援策の対象になります。

計画期間は3～5年くらいの期間で目標を達成していくということで、3～4年くらいの計画を作ります。

数値目標として、付加価値額、または1人当たりの付加価値額の伸び率を年率3%以上。経常利益の伸び率が年率で1%以上にします。計画期間が3年の場合は付加価値額9%以上、経常利益は3%以上の計画になります。

その他事項として、計画に対する進捗状況のフォローアップ調査があります。

承認申請は都道府県単位になりますので、東京の場合は都庁の承認をもらって、都からのフォローアップ調査を受けることになりますが、承認を受けると、中小公庫による低利融資、信用保険法の特例、税制措置、特許料の減免、販路開拓支援等の支援策の利用が可能になります。

「付加価値額」とは「営業利益+人件費+減価償却費」、ここでいう「経常利益」とは「営業利益-営業外費用」で「営業外収益」は含んでおりません。『今すぐやる経営革新』の16ページに書いてあります。

「経常利益」として例えば土地の売却等の営業外収益を含んでしまうと、経営革新をやってどれだけ上がったか判らなくなってしまいます。

経営革新支援の実施状況

計画承認件数の推移は、平成11年から始まって平成19年3月末までで3万2,000 件になっています。印刷業の状況を5ページのグラフで見ると非常に少なく約100 件くらいで

2. 経営革新支援制度の概要

（1）「経営革新」の定義
新事業活動を行うことにより、経営の相当程度の向上を図ること。

（2）支援の仕組み

①中小企業が国の基本方針に基づき事業計画を作成

事業計画の作成
②計画承認
③承認を受けた企業は各種支援策の活用が可能

④計画承認を受けた企業は各種支援策の活用が可能
⑤計画承認を受けた企業は各種支援策の活用が可能

す。印刷業としては平成16年くらいから業態変革に取組まれておりますが、光沢業界では昨年の説明会后2社が経営革新に取組まれ支援の承認を受けられました。

承認企業の業種と取組み内容は

経営革新計画承認企業3万2,000 社のうち、業種として製造業が一番多くて42.7%。この製造業の中に印刷業が入っており、約3%弱が印刷業になります。

取り組み内容は、Ⅰ新しい商品、Ⅱ新しいサービス、Ⅲ商品は新しくないが新しい売り方、Ⅳサービスは新しくないが新しいその他という4分類されますが、6ページの印刷業における経営革新の類型グラフを見ると、分類Ⅲの商品は新しくないが、新しい売り方が一番多いことが判ります。

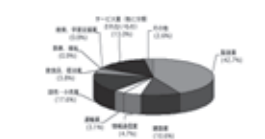
印刷業における承認企業の業種は

印刷業における承認企業の属性（業種）は、企業数が圧倒的に多い印刷業が一番多くなっています。

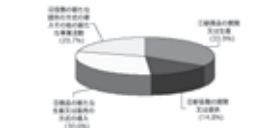
印刷業における新事業の内容は

承認を受けた各社から提出された資料を自分なりに分類しているので、必ずしも正しいとは思わないのですが、分類をして見ると新し

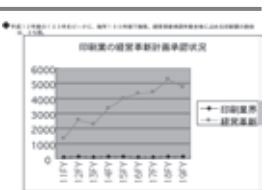
■経営革新計画承認企業の業種（平成19年度末現在）



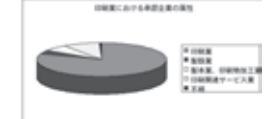
■計画承認企業の取り組み内容（平成19年度末現在）



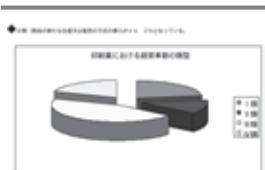
印刷業界における経営革新の状況



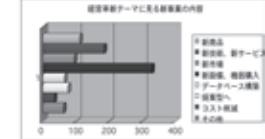
印刷業における承認企業の属性



印刷業界における経営革新の状況Ⅱ



印刷業における承認企業の属性



い設備や新しい機械を買うためにこの施策を使用した印刷業の方がほとんどだと思います。

「地域力連携拠点」について

経営革新について今まで商工会、商工会議所が中心になって経営革新支援センターでやっていたわけですが、昨年の5月30日からは銀行関係、都道府県の支援センター、大学、農協、NPOなどが加わり、「地域力連携拠点」が全国に316箇所設立され、その支店や出先などを含めると約2,000箇所になり、中小企業の様々な経営課題や経営革新の計画作成などきめ細かく指導や助言をしてくれる体制が整いました。

印刷業における経営革新の承認テーマ

印刷業界の各社が経営革新の取り組みで承認を取ったテーマです。新しいこと、いままでと違うことをやればいいのです。何も日本で一、二を争うような最先端の機械を入れて何かをやるのではなく、自分の会社にとって初めてであればいいわけです。しかし 価格競争のために機械を買い生産性を上げただけではだめで、そこにもう一工夫も、二工夫もしなければいけない。

経営革新計画承認事業者の経営向上の状況は

私が中小企業庁で在任した年間で、だんだん経営革新承認企業の業績も上がってきており、平成18年からは補助金制度が無くなったにも関わらず、都道府県の人たちも一生懸命取り組んでもらえるようになったこともあって、承認企業が5,000件を超えて18年、19年と向上して参りました。

経営革新承認事業者のうち付加価値額が年率3%以上は向上した企業は約62%で、一般の中小企業より3倍位多く成功していますが、しかし4割弱の企業は取り組んでも成果が目標まで至っていないことも事実です。

この施策の成功に社長さんのやる気が一番のポイントで、経営のヒントにして欲しいと思い、日本の企業を6,000社以上を定点で見ている坂本先生から立派な会社を紹介していただいて、今に至っている次第であります。

経営革新制度評価委員会と坂本先生語録

法政大学大学院教授の坂本先生を委員長にして、経営革新制度評価委員会を設置していますが、経営革新支援制度とは、低利融資等の金融支援措置だけではなく、むしろ中小企業に本来あるべき姿を気づかせること、つまり経営に関する中期のビジネスプランを作成し、企業経営のPDCA（計画・実行・評価・改善）を毎時間、毎日、毎月、毎年という形で見直し、日々の改善を図って向上し革新を進めることにあります。

「勝ち残る中小企業のタイプの比較」として、坂本先生が常に語られていることを語録としてまとめましたので、ご参考にしていただければと思います。

伊那食品工業株式会社の塚越会長から見る企業の目的

塚越会長は次のように語っています。会社の真の目的は、会社を構成する人々の「幸」の増進を計りながら、様々な分野で社会に貢献することであり、成長も利益もそのための手段であると信じます。会社をとりまく全ての人々(仕入先、得意先、地域の皆さん、従業員)の為に、会社が常に適正な成長をしながら永続する事こそ企業のあるべき姿であり、企業の価値ではないでしょうか。



会社が永続し常に一定の発展をするためには、社員の人間的成長こそ大切と考え、常により良い社会人を育てるべく、社員の人間教育にも力を注いでおります。単に経営上の数字が良いというだけではなく、より多くの方々が日常会話の中で「いい会社ですね」と言ってくれるような会社づくりを目指しています。

用紙クローズドリサイクル施設見学を実施

日本フォーム印刷工業連合会「資材委員会」(委員長・室賀定俊)では用紙再生利用の見学会を予定しており、また環境委員会(委員長・福田学)では循環型社会形成を目標にアンケート調査を行ない、工場から排出される廃棄物のリサイクル化に取り組んでいる。

今回、資材委員会と環境委員会の協賛で、循環型社会形成に取り組み成果を上げている(株)宮崎と三栄レギュレーター(株)の施設見学会を2月13日に50名が参加して実施した。

東京都江東区のJR本場駅前に集合し、専用バスで(株)宮崎 新木場営業所(江東区新木場)に移動し、古紙の集積作業を見学した。

回収車で回収されて来た古紙に含まれているビニール類及び収束紐類を分類し、大型プレスで圧

最後に

今日 日本でも経営の合理性を一辺倒に追求していくアメリカ型経営のやり方になってしまっています。これからは弱い人も強い人もグループでやって、皆で向上して行くという日本的な組織と経営のやり方に見直されていくのではと感じ、そのような企業を皆さんに紹介をしていきたいと願っています。

今日はどうもありがとうございました。

縮し、ワイアーバンドを掛け、再生紙メーカーに発送する業務を見学した。

海外向けの古紙はここで大型コンテナへの積み込みが行なわれ、大型トレーラーで搬出され、機密取扱いの古紙については隔離した場所で、大型シュレッダーに掛けられた後、大型プレスで圧縮しワイアーバンドを掛け、出荷される作業を見学した。

次に、川崎市の沿岸部にある三栄レギュレーター(株)東京工場を見学した。

三栄レギュレーター(株)東京工場は、国が推進する資源循環型社会のモデルプロジェクト第1号とし、2003年に操業した世界最初のゼロエミッション製紙工場で、製紙設備をはじめトイレットペーパー加工設備は、世界最先端の設備が導入され



三栄レギュレーター(株) 見学風景



三栄レギュレーター(株) 東京工場

「循環型製紙ライン」が構築されている。

古紙の処理量として月産7,000トンの回収紙を処理し、毎日約110万個のトイレットペーパーを生産している。

また、製紙設備で多量に使用される水については、川崎市の生活排水を浄化して使用し、工場からの放流時には水力発電がされ、熱エネルギーとしてはPRF(プラスチック類やペーパースラッジなど紙のリサイクル時の副産物)を燃焼して使用し、その灰はセメントの原料として再資源化するなど、徹底した廃棄物ゼロを達成している。

さらに、見学した東京工場では機密文書を封印したままの溶解が可能で、溶解廃棄に立ち会う施設も完備しており、機密文書を多量に扱う金融機

関や企業などの利用が多いと説明があった。

今回見学会に参加した全員50名にアンケートを実施し、施設参加者の声として、循環型社会形成の取り組みをビジネスにし、成果を上げて素晴らしい。紙粉の少なさに驚いた。

施設がより進んだ環境対策であることに関心するとともに、行政と一体となった取り組みの重要性を痛感した。

古紙リサイクル施設として想像していた環境と大きく異なって、非常に衛生的で綺麗なことに関心した。クリーン度には驚いた。

今回の見学で出来る限りリサイクルに廻す努力が必要なことを感じたことなど、大きな反響を呼んだ見学会になった。

トピックス

技術委員会

技術セミナー「インラインフィニッシングの動向」を開催

日本フォーム印刷工業連合会技術委員会(委員長・丹羽喜一)は3月5日、日本印刷会館において、米国の印刷業界で進んでいる「インラインフィニッシングの動向」についての技術セミナーが実施され、小規模なセミナーであったが約40名が熱心に聴講された。

低迷する印刷業界において印刷後の加工部門が重要になっておりますが、米国ではオフセット輪転印刷機のデリバリー部に様々な加工システムや高速インクジェットシステムを接続して、一括生産を行なっています。そこで、オフセット輪転印刷分野での先端加工技術動向を把握し、フォーム業界への応用と展開の参考と致すために技術委員



会が企画しました。

冒頭、日本印刷産業連合会のデジタルプレス研究委員として、昨年11月に米国視察に参加した技術委員の池澤茂氏((株)ビーエフ)から、訪問したシカゴのSpecialty Printing社の差別化したDM生産ラインのImaging Tower(高速インクジェット)と後加工ラインについて説明された。

米国Scheffer, Inc.総代理店である(株)トラビスの加藤和昭 社長から、Scheffer社製インラインフィニッシングシステムの紹介と、米国の印刷企業において同システムを使用して生産された複雑で興味ある様々な製品を紹介した。

コダックグラフィックスコミュニケーションズ(株)デジタルプリンティングソリューション本部の内田哲雄 担当部長からは、オフセット輪転印刷機とコダックインクジェットプリンタの組み合わせによるコダックハイブリッドプリンティングソリューションについて説明があり、国内と米国(Japs-Olson社、Specialty Printing社)での事例が紹介された。

技術委員会では今後、様々な技術的テーマについてタイムリーに紹介するため、小規模セミナーを継続した実施を予定している。

工業会だより

東北フォーム印刷工業会

工場施設見学会を実施

東北フォーム印刷工業会(会長 笹氣幸緒)は工場施設見学会として、2月17日(火)に福島県いわき市の日本製紙株式会社勿来工場(工場長 尾藤秀士 様)で開催し、会員19名が参加された。

今回見学した勿来工場は1969年(昭和44年)にノーカーボン紙を専門に生産する工場として操業され、ノーカーボン紙以外にも感熱紙、インクジェット用紙、圧着用紙など、情報用紙の専門工場として発展してきた。

工場内の施設見学に先立って、勿来工場紹介のビデオを見ながら、同工場の主力製品についての説明を受けた。

その後、日産124トンの生産能力を持つ抄紙機設備や塗工機設備を見学したが、減産の影響で多くの設備が稼働を停止していた。

その他 省エネルギー対策として導入している化石燃料を使わないバイオマスボイラーや、仕上部門、立体倉庫など興味ある施設を見学することができた。



見学会記念撮影



新春講演会・新年会を開催

東北フォーム印刷工業会(会長 笹氣幸緒)は1月27日(火)、ホテル白萩(仙台市)にて理事会、新春講演会 及び新年会を行なった。

新春講演会には24名が参加し、書家 星淑子様による「呼吸がアートになる」と題し、書家として活躍されている先生の芸術観を聴いた。

「書」とは、目で見る呼吸であると思う。絵画は、時間と時間を重ね合わせて完成させるが、書は、定められた筆順によって書きすすめられ、再び同じ空間を重ねて通過することは許されない。一作品に一本だけの筆を使い、上下運動と垂平運動による筆の開閉で、線の太細、強弱を表現する時間芸術である。

また、「書」はもともと絵から発し、意志を少しでも早く伝達するために、省略、簡略化し、エキスを残し、形や意味を抽象表現することによって「美」にまで高めた日本から発信できるアートである。日本の精神性をアートとするために、ゴッホをはじめとする多くのアーティストに影響を与えた浮世絵の、細くて強い外輪の線を書線として追求することで、私は芸術性を探ってみた、と、書家 星淑子様は話された。

その後 笹氣会長の挨拶で開始された新年会では、会員の皆様との情報交換をしながら、楽しい一時を過ごした。



書家 星淑子様

見学会 説明風景

新年互例会を開催

関西フォーム印刷工業会(会長 中川博志)は1月15日、大阪弥生会館(大阪市北区芝田)において、定期理事会に併せて、平成21年新年互例会を96名が参加して盛大に実施された。

新年互例会では「お笑いストレス解消法～笑いは心の特効薬～」と題して、落語家の林家笑丸(えみまる)師匠がご講演され、新春のひと時を笑いの渦に巻き込んで新年のスタートを切ることが出来た。



大阪支部2月例会において“第16回プチ勉強会”を開催

関西フォーム印刷工業会大阪支部(支部長 溝口剛司)は2月26日、月例会に併せて、第16回

プチ勉強会を大阪支部会員の21社が参加して実施した。

定例会では、「日本フォーム工連」「関西フォーム印刷工業会」からの報告の後、低迷する経済状況の中で、支部会員の各社がどのような取り組みを行なっているかを発表した。

プチ勉強会では、技術委員会主催の技術セミナーでもご講演を頂いた、特別会員のアイマープランニング(株)部長の木村寿氏より「ビジネスフォーム印刷におけるJ-COLORシステム」について、実際の設置事例を通して同システムの効果を話された。



プチ勉強会風景

新年会を開催

九州フォーム印刷工業会(会長 和田秀一郎)は2月12日、「八仙閣」(福岡市)において、定例理事会と平成21年新年会を27名(正会員8名、特別会員19名)が参加して実施された。

理事会では日本フォーム工連理事会の報告と、九州工業会の各社の状況について発表があり、地元(各地方)からではなく中央からの発注が進む中ではあるが、地方経済の活性化のために我々が仕事を創注していこう！との結論に至った。

理事会後開催した新年会では、冒頭和田会長から「景気後退の次の一手は」と3つのポイントを話された。①不況のときこそ原点に帰り顧客との対話を増やして、顧客の心境やニーズを探ること。②品揃えや価格、ブランド展開など、自社の強さを明確にするため、自社の製品群を再度点検すること。③不況時に戦え抜ける自社の本業を明確にすること。

新年度はより会員企業の交流を図ろうと様々な案が飛び出して、賑やかな新年会になった。

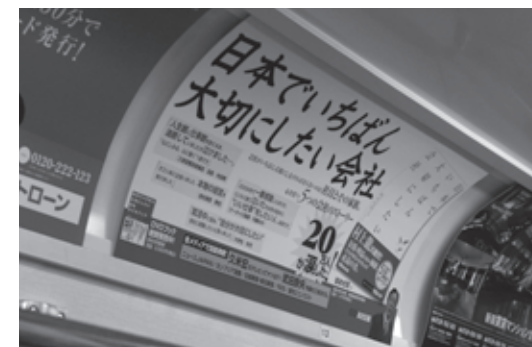
業務委員会主催

■平成21年度 第1回講演会「日本でいちばん大切にしたい会社」を開催

業務委員会(委員長 小谷正嘉)では、日本経済が非常に厳しい状況の中にはありますが、このような時こそ原点に返って、「真の経営とは」「企業はなんのために」「心から感動するサービスとは」などについて、会員の皆様と共に

考えて行きたいと思い、20万人以上の人々が涙して読まれているベストセラー「日本でいちばん大切にしたい会社」(あさ出版)の著者、法政大学大学院教授 坂本光司氏をお迎えして、ご講演を頂く講演会を開催致します。

日時：平成21年5月21日(木) 15:00より
講師：法政大学大学院政策創造研究科
法政大学大学院
静岡サテライトキャンパス長
教授 坂本 光司 氏
場所：ホテル銀座ラフィナート7階(松風)
問合せ連絡先：日本フォーム印刷工業連合会事務局
TEL：03-3551-8615



国際委員会

■China Print 2009 展示会 中国B F印刷産業の視察ツアー

国際委員会(委員長 玉田健治)は、中国北京で開催されます「ChinaPrint2009」展示会に併せて、中国のBF関連企業を訪問する視察ツアーを計画しました。

「China Print 2009」は中国国際展覽センター新館の全ての展示ホールを使用し、1,000社以上の出展規模で、4年毎に開催される中国最大の印刷展示会です。

また、この展示会に併せて国際フォーラムが開催され、日本からは日本印刷産業連合会会長の山口政廣氏のご講演の予定です。

B F 関連企業への訪問先として、フォーム印刷をはじめ、封筒加工、請求明細発行やタクシー領収書などの製造している会社を予定しています。

期 間 2009年5月10日(日)～14日(木)(5日間)
参加者 10名(部分参加3名)
訪問企業 北京：北京中国造幣公司
上海：伊諾尔印務有限公司
帰国後、視察報告会を実施する予定です。

CHINAPRINT2009会場
中国国際展覽中心 新館



日程表

	月 日 曜	都市名	時間	交通機関	スケジュール
1	5月10日 (日)	東京(成田)発 北京着	9:00 11:55	CA422 専用バス	中国国際航空にて北京へ (所要:3時間55分 時差-1時間) 着後、北京市内視察 (王府井散策、天安門散策)(北京泊)
2	5月11日 (月)	北京滞在		専用バス	午前:インフォトレンド・セミナー 午後:北京中国造幣公司視察 (北京泊)
3	5月12日 (火)	北京滞在		専用バス	終日:CHINA PRINT 2009 視察 ・展示会見学 ・出展企業とのミーティングを開催 (北京泊)
4	5月13日 (水)	北京発 上海着	8:30 10:40	専用バス CA1501 専用バス	ホテルより空港へ 空路 上海へ(所要:2時間10分) 午後:伊諾尔印務有限公司視察 (上海泊)
5	5月14日 (木)	上海発 成田着	17:05 21:00	専用バス CA157	午前:上海Innovation Center 上海市内視察(外灘、豫園、東方明珠塔、等) 空路:帰国 (所要:2時間55分)

国際委員会

■ 北米印刷事情レポート

2009年米国でのホットな印刷市場は！

米国印刷市場で最大の業界は銀行と保険会社です。この業界の危機で印刷市場が大きな打撃を受けると思われていましたが、2009年の需要の予測の調査結果は予想外に金融・保険業界の収入が8%伸び、関係印刷物も143億ドルと8%増加するという結果です。印刷業界にとって最悪の市場は、投資・証券業界で関係印刷が49億ドルとマイナス39%になると予測されている。

その他 各種業界の需要の予測は、出版・情報分野での関係印刷は142億ドル(-8%)、食品パッケージ分野での関係印刷は132億ドル(+17%)、通信分野での関係印刷は99億ドル(+14%)、自動車分野の関係印刷は81億ドル(-8%)、と予測している。

■Web-to-Printの大手VistaPrint社の業績が好調

日本フォーム工連国際委員会で開催した米国視察報告会で紹介したWeb-to-Print大手のVista Print社は、2008年12月末で終わった四半期の売上が1億3,900万ドルで、前年同期に比べ32%上昇したと発表。

最終利益も前年同期を66%上回る1,850万ドル(対売上13.3%)と発表し、前年に比べ顧客数も約100万件増え、毎日の受注件数が43%増の43,000件と報告した一方で、一件毎の平均オーダー金額は5%減って33.57ドルに減少している。

■2008年のクリスマスショッピングを誘った広告メディア

米国の小売業界にとっては非常に重要な商

戦時期である感謝祭(11月末)からクリスマス後(12月末)までの約一ヶ月に、消費者を購入に誘った広告メディアは何であったかについての調査をNatioanl Retail Federation(米國小売連盟)が行ない結果を発表した。

消費者の44.6%は受取ったクーポンで購入場所を決定し、消費者の30%は広告チラシ、また、18%はダイレクトメールが購買につながったとの結果を報告した。

この調査結果からは、紙媒体の広告がまだまだ消費者の購買を誘う重要なメディア(情報源)であることが位置付けられる。

■米国郵政(USPS)が郵便料金の値上げを発表

米国郵政は昨年(2008年)の年間郵便物が90億個も減少し、10億ドルもの損を計上したと公表し、再度、今年5月11日から郵便料金を上げると発表した。ポストカード(はがき)は現在の26セントから27セントに、大型封筒も83セントから88セントにそれぞれ値上げされることになる。

今後 印刷業界にとって郵便料金の値上がDM需要を左右する大きな要素となっているので注目され、日本でも郵便料金の値上げについて、注目する必要がある。

■InfoPrint Solutionsがトランスプロモの効果を報告

前回の会報第358号にInfoPrint Solutions社のトランスプロモの記事を掲載したが、同社では昨年秋、世界最大のホテルチェーンBest Western Internationalとトランスプロモのパイロット計画を8週間にわたって実施した。

この効果について、印刷業界最大の調査機関であるInfoTrendsが発表した。①ROIが278%、②顕著な売上増、③Best WesternとMasterCardとの提携カードでの支払いが500%増、という素晴らしい成果があったと報告。

同様のトランスプロモのパイロット施行は、米国の大手ケーブルTVのCGS Systems社とも行い、トランスプロモの効果を発揮している。

InfoPrint Solutions社はトランスプロモの開発センターとしてコロラド州ボルダーにInfoPrint Innovation Centerを設置し、中国の上海、さらにドイツに同様のCenterを設置している。

■ダイレクトメール(DM)が変わる

マーケティング戦略の専門コンサルティング会社、Winterberry Groupは、経済不況と郵便料金の値上げ、さらにデジタルコミュニケーションへの移行という三重の“襲撃”を受けて、2008年のDM製品の売上額は、1945年に統計を取り始めて、初めて前年対比で3%の減額になった。この減額傾向は不景気とあいまって2009年も続き、更に8%の減額が予測され、DMの性格も下記のように変化すると予測している。

- ①従来DMの発送量は景気停滞が終わると元に戻っていたが、今回の不況は大きさとタイミングからDMが根本的に変わると予想され、従来の大量キャンペーンDMは事実上終焉する。
- ②“多数、多量作戦”から“ターゲットを定めた”DMプログラムへの移行が加速し、市場の大小を問わず、マーケティング技術が更に改善される。
- ③経済不況とは関係なく、郵便料金の上昇などの郵便サービスそのものの低下でDM分野を阻害する可能性がある。

■北米印刷業界に関する統計数字

PRIMIR(The Print Industries Market Information and Research Organization(印刷産業市場情報及び市場調査機構))が北米(アメリカ及びカナダ)印刷産業界の2006年現在の印刷・業種別印刷工場数、プレス設置台

数、紙・トナーなどの使用量等をPrinting Impressions 2月号に掲載。

- オフセット輪転印刷で使用された用紙 2,540万トン／年
 - 枚葉印刷機で使用された用紙量630万トン／年
 - デジタルプリンタで使用されたトナー 1,740万ポンド／年(7,890トン／年)
 - 北米印刷企業の48,631工場の内、オフセット印刷機の設置工場は34,000工場
 - オフセット枚葉印刷機台数：119,607台
 - モノクロデジタルプリンタ台数：28,925台
 - カラーデジタルプリンタ台数：13,247台
 - ワイドフォーマット(プリント幅36インチ以上)プリンタ台数16,829台
 - オフセット輪転印刷機台数：5,948台
 - 熱乾燥機付きオフセット輪転印刷機台数：4,627台
- インクジェットプリントの用紙リサイクルは米国の印刷業界でも、緑化政策(グリーン)、

地球環境保護(Sustainability)が一般的になりつつありますが、業界誌のPrint Professionalの2月号に、ドイツのミュンヘンにあるINGEDE (International Association of the Deinking Industry)は、インクジェットプリンタで使われる水性インクが紙のリサイクルに大きな障害を起こすと警告。

これを受けて、ヨーロッパでは製紙会社やインクジェットプリンタ関係者が問題解決に向けて協議を始め、米国でも産業用インクジェットプリンタメーカーのHP社、InfoPrint Solutions社Kodak社、Oce(本社ドイツ)の4社が、Digital Print De-Inking Alliance(DPDA)を発足させ、インクジェットでプリントされた用紙のリサイクル化の研究を開始した。

インクジェットでプリントされた用紙のリサイクルの可能性について、注意していく必要があるとPrint Professionalの記事は結んでいる。

経済産業省

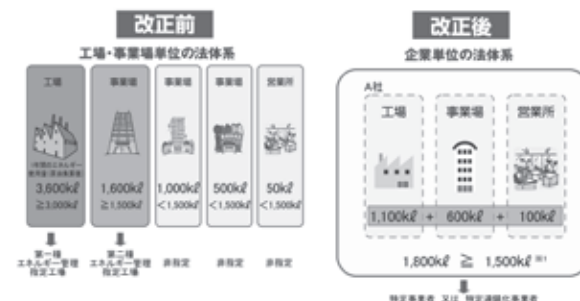
■省エネ法(工場・事業場)が変わります —平成21年4月から準備が必要です—

我が国は、京都議定書の目標を確実に達成するとともに、中長期的にも温室効果ガスの排出量を削減することが求められ、温室効果ガスの約九割はエネルギー起源の二酸化炭素

ですので、この削減に向けて「エネルギーの使用の合理化に関する法律」(省エネ法)が改定されました。主な改正は次のとおりです。

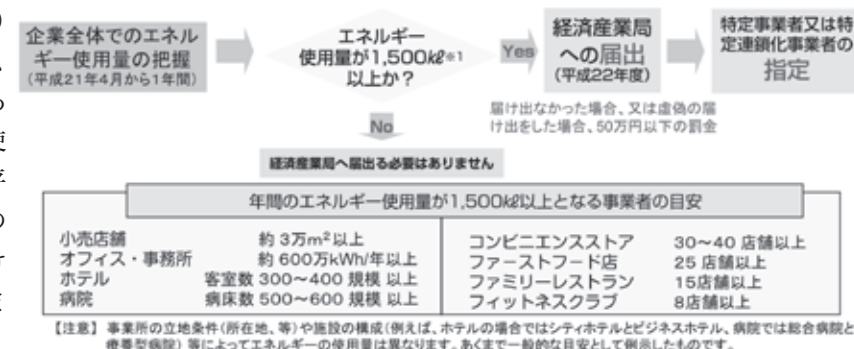
1. 工場・事業場単位から企業単位へ

これまでの工場・事業場ごとのエネルギー管理から、企業全体での管理に変わります。企業全体(本社、工場、支店、営業所など)の年間のエネルギー使用量(原油換算値)が合計して1,500kℓ以上であれば、そのエネルギー使用量を企業単位で国へ届け出て、特定事業者の指定を受けなければなりません。



2. エネルギー使用量データの記録

エネルギー使用量は平成21年4月から1年間記録する必要があります。下記フロー図のとおり、企業全体での年間の合計エネルギー使用量(平成21年4月～22年3月まで)を正確に把握し、1,500kℓ以上であればエネルギー使用状況届出書を平成22年度に管轄の経済産業局へ届け出なければなりません。



3. エネルギー管理統括者等の創設

特定事業者及び特定連鎖化事業者は、エネルギー管理統括者(企業の事業経営に発言権を持つ役員クラスの者など)と、エネルギー管理企画推進者(エネルギー管理統括者を実務面で補佐する者)をそれぞれ1名選任し、企業全体としてのエネルギー管理体制を推進することが義務付けられます。

お問い合わせ先：経済産業省 資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部
省エネルギー対策課 電話 03-3501-9726

経済産業省 経済産業政策局 調査統計部

■平成21年経済産業省企業活動基本調査にご協力ください

経済産業省では、我が国企業における経済活動の実態を明らかにし、経済産業政策等各種行政施策の基礎資料を得ることを目的として、平成4年以降「経済産業省企業活動基本調査」(基幹統計調査)を実施しており、平成21年も実施いたします。

調査に対するご協力をお願いいたします。
○実施期間：平成21年5月16日～7月15日まで

○根拠法令：統計法(平成19年法律第53号)
○調査目的：我が国企業における経済活動の実態を明らかにし、経済産業政策等各種行政施策の基礎資料とする

○調査対象：従業員50人以上かつ資本金3,000万円以上の企業で、企業全体の数値。

○調査結果：平成22年1月に速報を公表予定。調査協力企業については、当省で作成した統計情報を送付。

※調査票の提出は、紙調査票によるほか、インターネットからオンラインで提出することもできます。

※調査票に記入していただいた内容につきましては、統計法に基づき秘密を厳守いたしますので、調査に対するご協力をお願いいたします。

財団法人 印刷図書館

■ — drupa 2008から始まる近未来の潮流 — 「世界の最新印刷技術」2008 — 2009の刊行

財団法人印刷図書館では「drupa 2008から始まる近未来の潮流」をキーワードとした単行本「世界の最新印刷技術」2008 — 2009を刊行した。

本書は、drupaで提唱された技術動向を総括・集大成し、記録として保存しておくことを目的に編纂している。

次々に出される新技術を蓄積し、新たな印刷ビジネスモデルの技術的な「データベース」としても刊行の狙いとしている。

全体構成は、有識者による「最新技術のトレンド」の解説をはじめ、印刷業界をリードする方々による「技術を経営に生かす心構え」、さらには有力ベンダーによる「新技術を駆使した近未来への提言」など、盛り沢山の内容となっている。

第1部

- ① 有識者が捉える最新の技術トレンド
- ② 印刷業界人が見た「わが社とdrupa」
—新たな技術を経営に生かす心構え—
- ③ 主要ベンダーが意義づける「drupa」
—将来の印刷業に伝えたい新技術の考え方—
- ④ 「drupa 2008」で示された技術動向
- ⑤ 帰国報告会(印刷図書館主催)における講演要旨

第2部

- ① 基調提言・近未来への舵取り
—わが社が提唱している
近未来への技術トレンド—
- ② drupa出展の最新システム
- ③ 「drupa 2008」にみる主な出展企業と
注目の製品一覧

世界の最新印刷技術」2008—2009

A4判／本文120ページ 発行日：平成21年2月20日

特別会員価格：1,700円（税込み）

編纂・刊行：財団法人 印刷図書館



“Chance”（CO2 削減への機会）

Blue Wave システム（低電力型紫外線照射装置）

ホスパーランプ

OMT ランプ



- 1、現在のインキをそのまま使用出来ます。
- 2、電力削減によりCO2削減が可能となります。
- 3、用紙に負荷される熱の抑制が可能です。
- 4、熱及び電力軽減効果に因る周辺温度過冷却が不要となります。
- 5、寿命が長い：ホスパーランプ：約 9,000 時間程度、OMT ランプ：約 3,000 時間程度

株式会社東通研 東京都豊島区要町1-29-11 電話03-5917-1160

e-mail : totuken@tkm.att.ne.jp

ビジネスフォーム印刷用 BST自動見当装置システム

プロセスカラーの見当合わせ時間の短縮に最適！

■ 採用のメリット！！

- ・各オーダ及びオーダプロフィールのデータ管理！
- ・ロット量にかかわらず始かり時間の大幅短縮！
- ・オペレータの技量を選ばないシステム！
- ・手動操作に対して大幅な損紙の軽減！
- ・印刷スピードの大幅アップ！
- ・大幅な損紙の軽減



BST ビーエスティ日本株式会社

東京営業所 〒108-0074 東京都港区高輪3-25-27 アベニュー高輪411号室
本社 〒562-0035 大阪府箕面市船場東1-10-9 箕面フレイバービル3階
大阪工場 〒594-0062 大阪府和泉市寺田町3-1-27

TEL : 03-5798-7805 FAX : 03-5798-7806
TEL : 072-727-4704 FAX : 072-727-4914
TEL : 0725-44-9930 FAX : 0725-44-9931

紙粉による印刷トラブルを解消!!

特許出願中

KBDペーパークリーナー

もう紙粉のトラブルに悩むことはありません！

特長

- 素材に全く傷を付けず、強制的に素材（紙、フィルム）を超微振動させ、紙粉を強制的に遊離させて、効率よく吸引除去させます。
- 特殊ローラーを使用し、素材（紙、フィルム）に対し粘着したり、擦ることがありません。

紙粉の除去が多様なメリットをもたらします！

1. 白スケが全く無くなった
2. 印刷機を止めることがないで…
- 紙のロス軽減 ●プランケット洗浄回数1/3に
- 刷版の洗浄が不要になった
- 以上により、印刷機稼働率が大幅にアップ
3. その他
- 紙粉が飛散しないので、工場内の空気がきれいになった
- メンテナンス不要によりオペレーターの負担が軽減
- 色合いのチェックや見当ズレ等のみに注意すればよかった
- 洗浄液使用量が1/3に、またインキに紙粉がまじらないので、インキ廃棄量も削減
- 枯渇資源の削減につながる

① 静電気を除去



② 超微振動にて紙粉を遊離



③ チャンバー内部で紙粉を吸引



④ 紙粉はフィルターに集められ、きれいな空気が循環します

インキ練りローラー自動洗浄装置

KBDローラーグリーンシステム

インキ洗浄時間の大幅短縮・安全、資源の節約を極める

特長

- 多品種小ロットの色替えなどによるインキ練りローラー洗浄の短縮・安全・資源の節約等を図ったインキ自動洗浄を日本初実用化。
- UV印刷の洗浄に大きな効果を発揮して、印刷ニーズの高品質化、短納期化、省力化に即応します。
- 「人に、ローラーに、地球にやさしい」自動洗浄装置です。



取付実績

2,000

販売実績記録を更新中
ユニット達成!

インキカラーコントロールシステム

KBDマイクロカラー-SL

シール・ラベル小型印刷機専用システム

貴社のシール・ラベル印刷機をデジタル化
インキカラーコントロールがグッと身近に。
前準備時間を短縮し、従来の損紙率を50%以下に削減。
精密な数値管理により品質が向上。



シール・ラベル・小型印刷機専用システム



印刷機材の総合商社
株式会社 光文堂

http://www.kobundo.co.jp

本店／〒460-0022 名古屋市中区金山二丁目15番18号 TEL 052(331)4111(代)
支社／東京 支店／東北・静岡・大阪・北九州・福岡 営業所／北海道・旭川・青森・山形
千葉・山梨・沼津・浜松・豊橋・岐阜・福井・金沢・富山・京都・山口・大分・熊本・沖縄

NPiフォーム *NEXT-IJ*



次世代を担うフルカラーインクジェットフォーム

近年、DPS 事業におけるインクジェット印刷の高速かつフルカラー化は目を見張るものがあります。当社は高白色、高不透明、高平滑でご好評いただいております「NPiフォーム NEXT」をベースに高性能インクジェット適性(耐水性、高発色性)を付与し、新たにラインアップいたしました。

■ NPiフォーム NEXT-IJ 規格表

米坪(g/m)	64.0	81.4	104.7	127.9	157.0
連量(kg)	55	70	90	110	135

※尚、本製品は受注生産となります。



日本製紙株式会社 情報・産業用紙営業本部 情報用紙一部
〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-12-1 (新有楽町ビル) Tel. (03) 3218-8047

Economy & Ecology エコノミー & エコロジー

New

SCREEN Truepress Jet520 フルカラーバリアブル インクジェットプリンティングシステム エントリーモデル

導入コストを抑えた待望の シリーズ機登場！！

<特長>

- ◆ Truepress Jet520の品質機能を継承
- ◆ 高付加価値創出
- ◆ Eco設計による環境対応
- ◆ 業務内容に応じた前後処理装置の選択(OP)
- ◆ 全数・全面ビットマップ検査による品質保証(OP)
- ◆ 業務量に応じてバージョンアップ(OP)



●ダイレクトメール
圧着はがき(先糊、後ニス対応) etc...



●帳票関係
OCRドロップアウトカラー
薄紙ノンカーボン用紙
保険証券・約款 etc...

●パーソナル出版・小ロット印刷
パーソナルカタログ・自費出版
新聞・フリーペーパー etc...



株式会社 メディアテクノロジー ジャパン

〒102-0074 東京都千代田区九段南2-3-14 靖国九段南ビル
VP営業統轄部 VP営業部
TEL03(3237)3116 FAX03(3237)3203
ホームページ <http://www.mtjn.co.jp/>

大日本スクリーン製造株式会社

メディア&プレジジョンテクノロジーカンパニー
〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上る4丁目
ホームページ <http://www.screen.co.jp/>

21世紀の情報記録を サポートします。

三菱情報記録用紙

三菱 NCR 紙 三菱IJフォーム用紙 DFカラーM・G
ダイヤフォーム ダイヤメールシリーズ OCR用紙 感熱紙

三菱製紙株式会社

三菱製紙販売株式会社

本店 〒104-0031 東京都中央区京橋2-6-4 ☎03(3566)2341
大阪支店 〒541-0056 大阪市中央区久太郎町1-3-9 ☎06(6271)2271

情報用紙事業部 営業部第1グループ 〒100-0005 東京都千代田区丸の内3丁目4番2号 ☎03(3213)3732
大阪営業所 情報用紙グループ 〒541-0056 大阪市中央区久太郎町1丁目3番9号 ☎06(6271)4455

名古屋支店 〒450-0002 名古屋市中村区名駅3-16-22名古屋ダイヤビル ☎052(563)7561
東北支店 〒980-0811 仙台市一番町2-9-22第2ナカノビル ☎022(227)7755
九州支店 〒810-0001 福岡市中央区天神1-15-6 綾杉ビル ☎092(771)1531